

NCVオペラ ダブルハング窓

組立て説明書

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがあるため、下記事項を厳守してください。
 - ・障子は必ず枠を立てた状態で建て込んでください。
 - ・建込み後は取付けまでクレセントを掛けておいてください。
- 雨漏りの原因になるおそれがあるため、下記事項を厳守してください。
 - ・コーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めしてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$) のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

■組立て上のお願い

- 必ず指定のねじで組み立ててください。
- プラスドライバー・マイナスドライバーを用意してください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書及び外枠取付け用・額縁取付け用部品セットは、必ず施工される方にお渡しください。
- 枠を躯体に取り付けてから障子を立て込む場合は、必ず施工される方に障子建込み用部品セットをお渡しください。
- ガラス寸法はダンボールまたはカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
- バランス部品箱は別売りです。

■部品・ねじ一覧表

※本文図中の㉑～㉘は、部品・ねじの種類を示します。

外枠組立て用	障子組立て用		外枠取付け用	額縁取付け用	障子建込み用	上枠カバー材取付け用	障子組立て用	障子建込み用	
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
バインド タッピンねじ	ナベ タッピンねじ φ4×20	トラス小ねじ(先付) M4×6	スクリーウ釘 φ2.1×25	皿木ねじ φ3.5×20	バインド 小ねじ(先付) M4×10	平小ねじ(先付) M4×10	ピボット	上枠振れ止めピース (内障子用)	上枠振れ止めピース (外障子用)

■バランス部品箱(別売り)一覧表

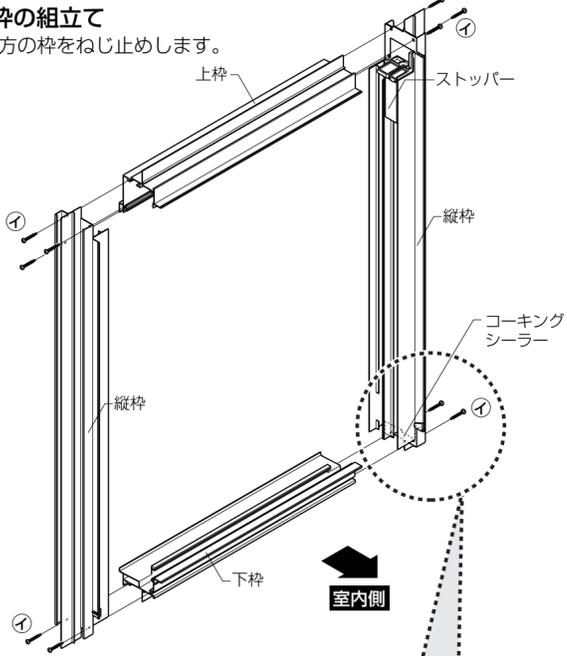
※本文図中の㉛・㉜は、部品・ねじの種類を示します。

バランス取付け用	
㉛	㉜
バインド小ねじ M4×10	バランス

■組立て順序

1 枠の組立て

①4方の枠をねじ止めします。



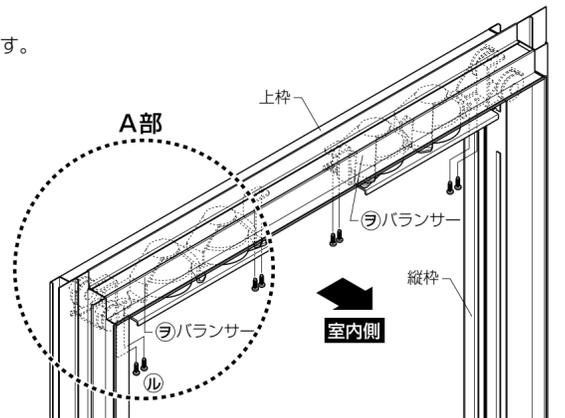
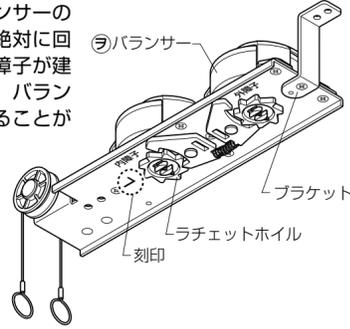
2 バランスの取付け

※バランスは、枠を組み立てる前に上枠に取り付けることもできます。

●お願い

※障子建込み前にバランスのラチェットホイールを絶対に回さないでください。障子が建て込めなくなったり、バランスが破損したりすることがあります。

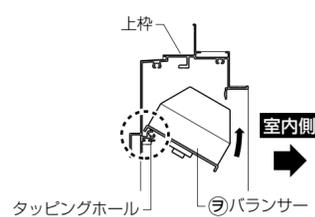
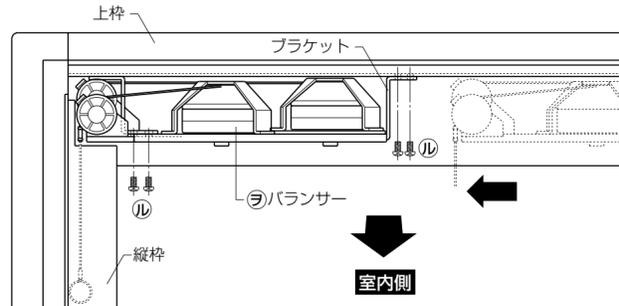
※バランスの下面に、L(内観左)・R(内観右)の刻印がありますので確認してください。



■バランス取付け詳細(A部詳細図)

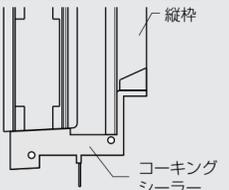
※W600mmの場合は、バランスR(後から付けるバランス)に付いているブラケットをいったん外し、バランス取付け後、付け直してください。

- ①上枠のタッピンホールの裏にバランスを引っ掛け、回転させて納めます。
- ②バランスをスライドさせ、上枠に固定します。

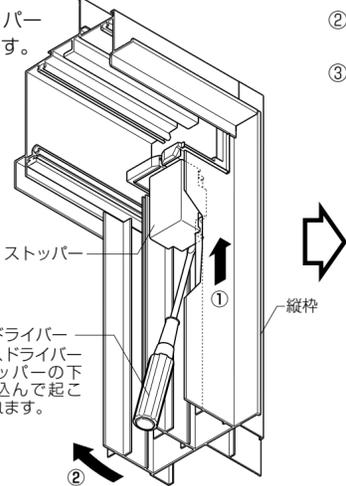


▲注意

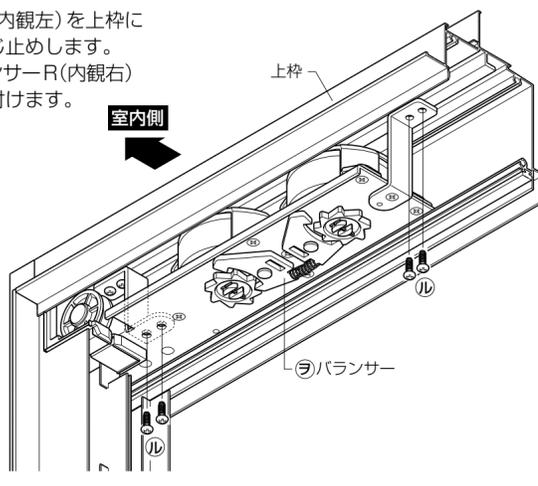
- コーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めしてください。
- ねじ止め後、緩み・がたつきのないことを確認してください。



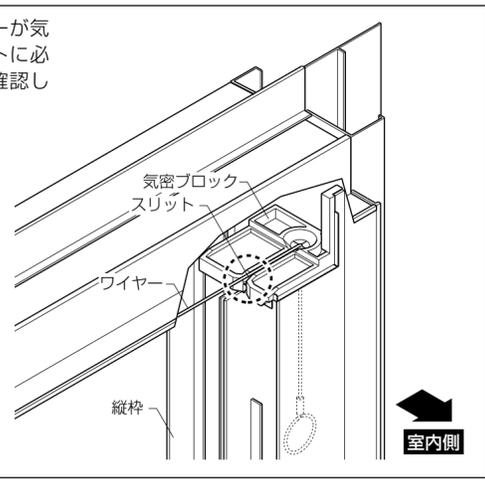
①縦枠上部のストッパーを左右とも外します。



- ②バランスL(内観左)を上枠に取り付け、ねじ止めします。
- ③同様に、バランスR(内観右)を上枠に取り付けます。

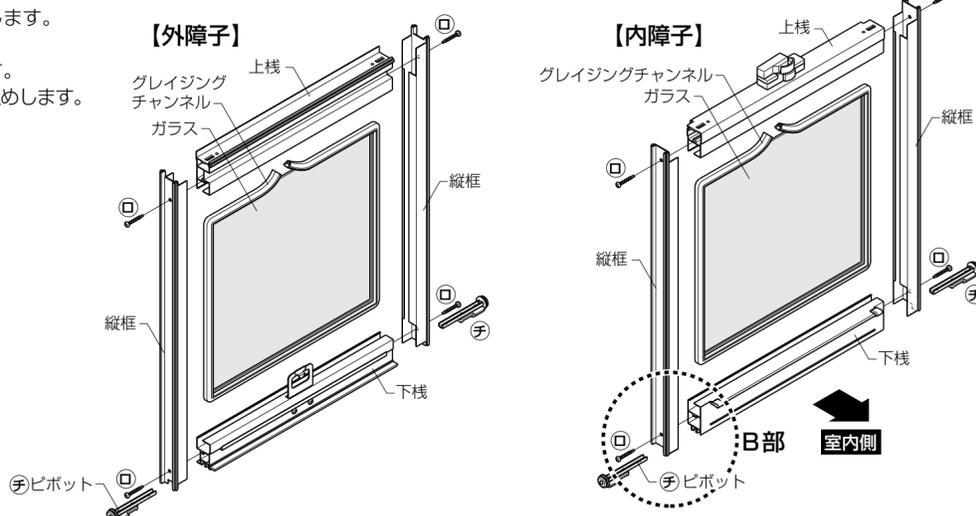


※バランスのワイヤーが気密ブロックのスリットに必ず通っていることを確認してください。

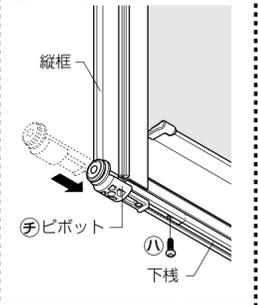


3 障子の組立て

- ①ガラスにグレイジングチャンネルを回します。
- ②上枠と下枠を差し込みます。
- ③左右の縦枠を差し込み、ねじ止めします。
- ④下枠にピボットを奥まで差し込み、ねじ止めします。



■B部詳細図



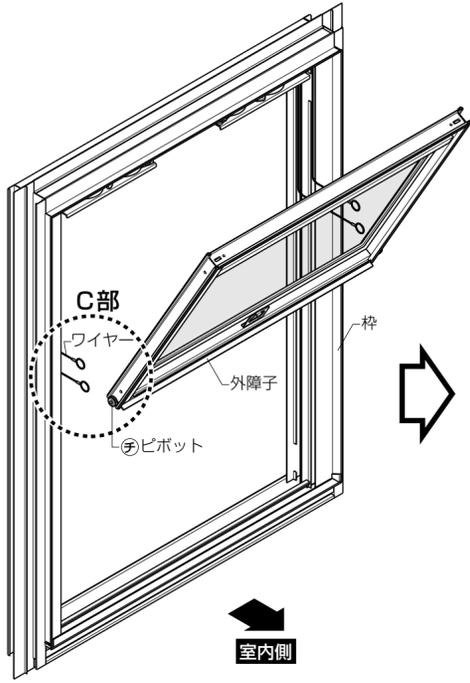
4 障子の建込み

※必ず障子の内外を確認し、外障子→内障子の順に建て込んでください。

- ①ワイヤー先端をピボットの溝にはめ込みます。
- ②障子を起こし、左右けんどんで枠に障子を建て込みます。

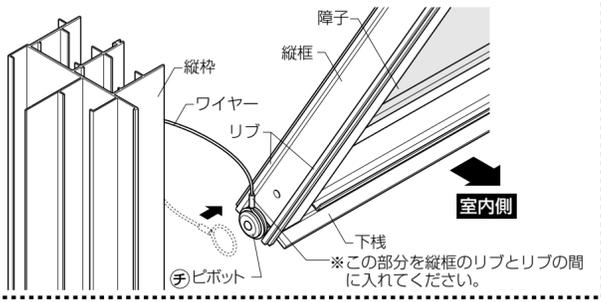
▲注意

- 障子は必ず枠を立てた状態で建て込んでください。
- 建込み後は取付までクレセントをかけておいてください。

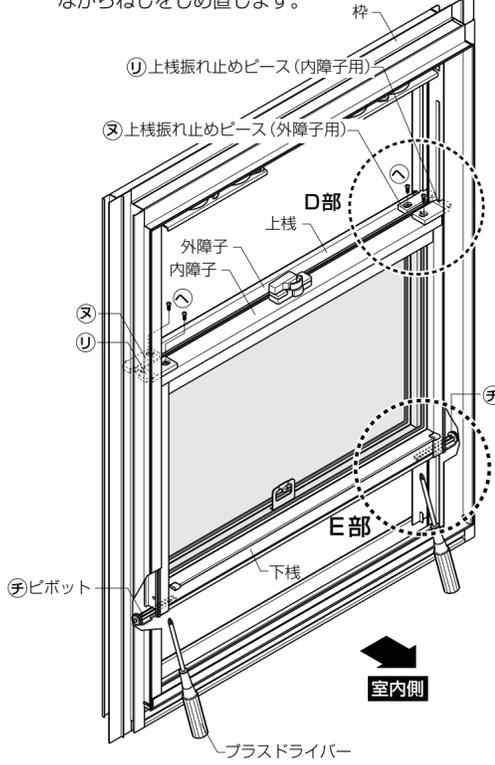


■C部詳細図

※ワイヤーは必ずピボットの溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れるとバランスが破損するおそれがあります。



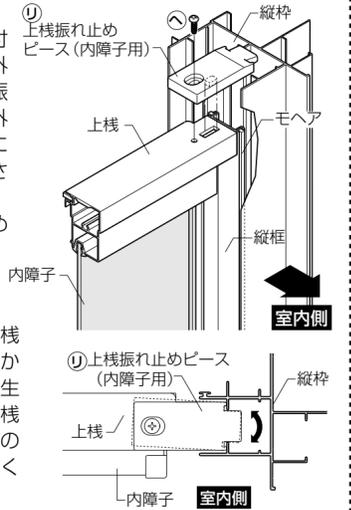
- ③上棧に上棧振れ止めピースをねじ止めします。※縦枠のモヘアが左右とも縦枠にかくれるように位置を合わせてください。※上棧振れ止めピースには、内(内障子用)・外(外障子用)の刻印がありますので確認してください。
- ④下棧のピボットのねじをピボットが左右に動く位にゆるめ、ピボットを縦枠側へ軽く押し当てながらねじをしめ直します。



■D部詳細図

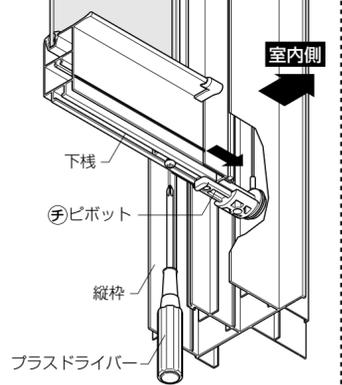
※図は内障子の取付けを示します。外障子には、上棧振れ止めピース(外障子用)を同様に取付けてください。※ねじは必ず手締めしてください。

※障子開閉時に上棧振れ止めピースからきしみ音が発生する場合は、上棧振れ止めピースの向きを調整してください。



■E部詳細図

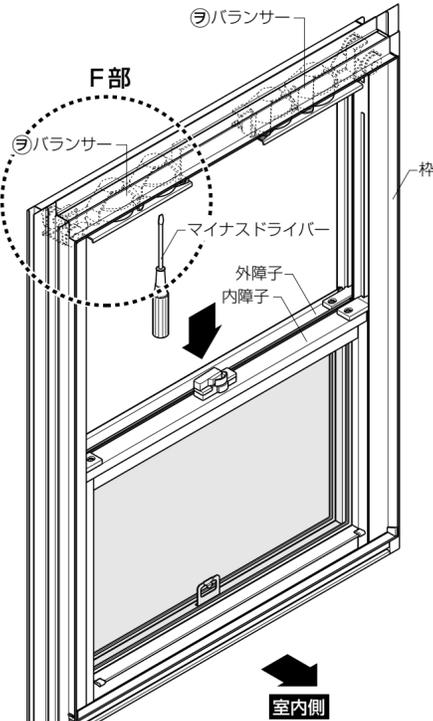
①ピボットを奥まで押し込んでねじをしめます。②左右とも固定した後、障子が大きいがたつかないことを確認します。※まったくガタがないと施工状態によっては開閉が重くなる場合があります。1mm程度のガタが適正です。



5 バランサーの調整

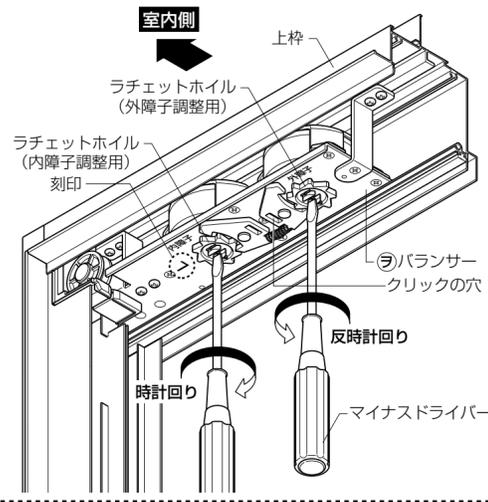
※バルancerの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。

- ①内障子・外障子とも一番下に下げます。
 - ②障子の上げと下げの力がまほ同じになるよう、バルancerのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。通常1.5~3回転程度で調整できます。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差し込んで回し、戻してください。



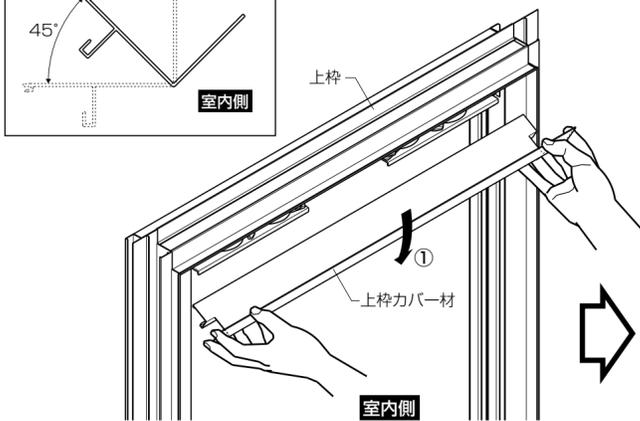
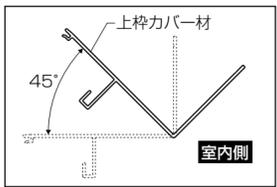
■F部詳細図

※図はL(内観左)を示します。このときラチェットホイールの回転方向は、内障子調整用は時計回り、外障子調整用は反時計回りです。※R(内観右)は逆回転です。

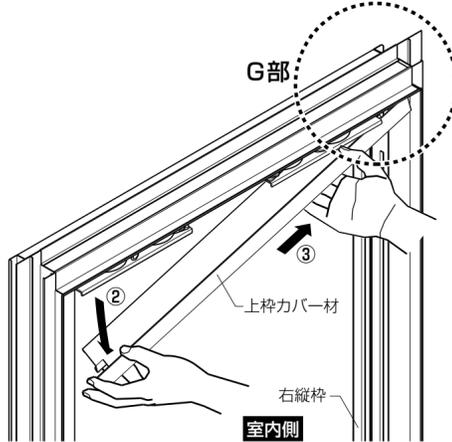


6 上棧カバー材の取付け

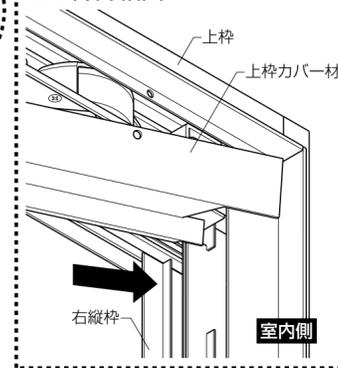
- ①上棧カバー材を、手前に45°傾けます。



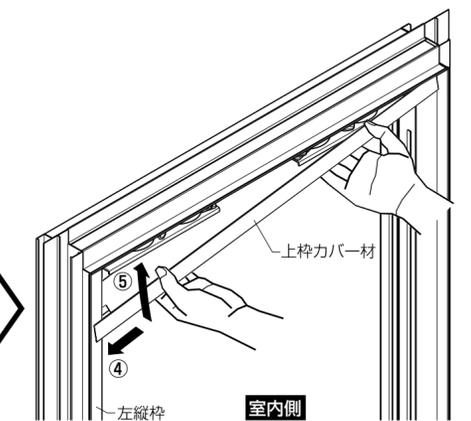
- ②①の状態のまま左端を45°下げます。
- ③②の状態のまま上棧カバー材右端の切欠きを右縦枠上部に入れ込みます。



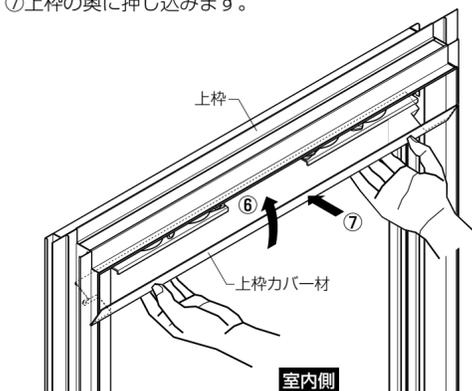
■G部詳細図



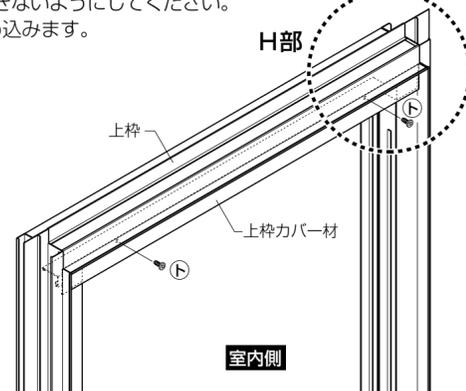
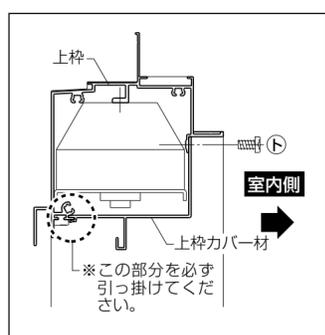
- ④上棧カバー材左端を左縦枠に入れ込みます。
- ⑤④の状態のまま上棧カバー材を一番上に持ち上げます。



- ⑥上棧カバー材を水平にもどします。
- ⑦上棧の奥に押し込みます。



- ⑧正面から上棧にねじ止めします。※ねじは必ず手締めにし、強く締めすぎないようにしてください。
- ⑨②で外した左右のストッパーをはめ込みます。



■H部詳細図

